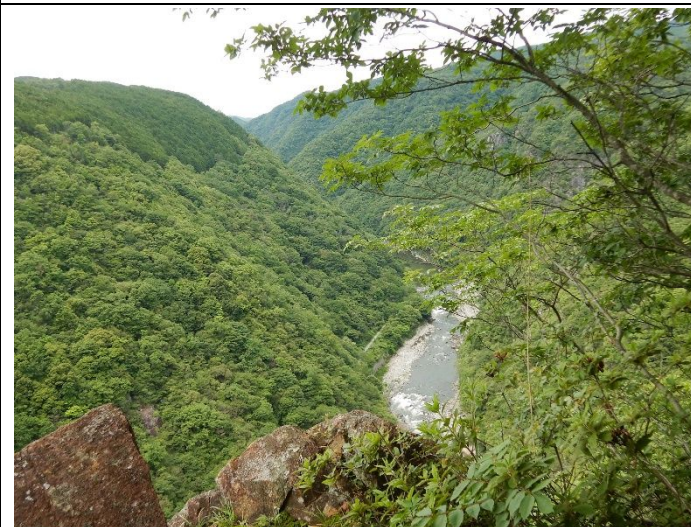




西宝橋遠望。砕石山の姿が痛々しい。



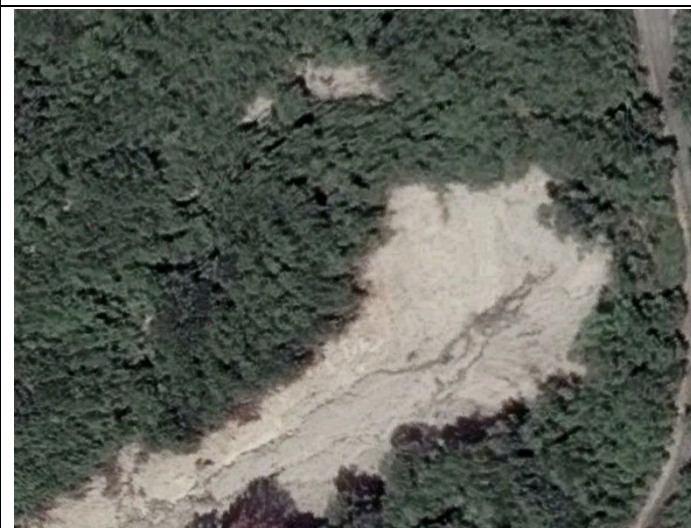
城山トンネル工事現場



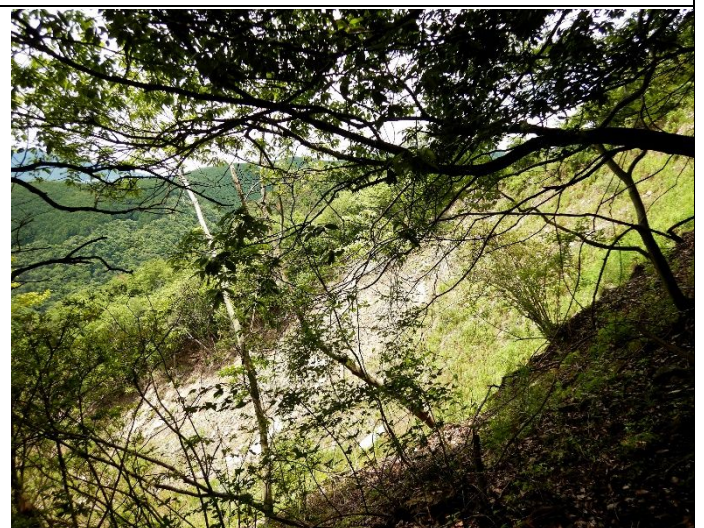
高座岩から見た武庫川峡谷



大きなコンクリートの塊落下？武庫川峡谷



Google Earth (2018年8月)



今も少しずつ崩れ続ける岩肌 (この辺りの地層は堆積地層)

河川内の工事はすっかり終わり何事もなかったように見える。青葉台地区で進められている城山トンネル工事、青葉台と花の峰地区接続道路工事が進んでいる。青葉台地区は西宝橋、花の峰地区は森與橋が唯一の避難路であったが、この道路が繋がると二方向避難が可能になり、ようやく普通の安全性が担保されるようになるだろう。

福知山線廃線敷きがハイキング道として開放され、多くのハイカーがV字谷の武庫が峡谷の景観を楽しみに来るようになった。平日の梅雨の晴れ間を狙って無人の峡谷探索に行った。何度も通ったハイキング道で、これまで気にもならなかったが、小さな土砂崩壊があったと思われるところをよく見たら大きなコンクリート塊が目にとまり気になった。上流から流れてきたとも思えないし、頑強な崖地で途中に何か構造物があるとも思えなかったが、Google Earthの時間スライで過去に戻ると2018年4月以降に大きな土砂崩壊が発生していたことがわかった。この年の7月5日西日本豪雨発生、兵庫県下で379箇所土砂崩壊が発生したものの人的被害は発生しなかったことがわかる。武庫川流域でも洪水は発生したものの被害はなかった。たまたま人命・財産がなかったから災害にカウントされずに済んだだけではないだろうか。ここに生命財産があったり、大規模なら被害は免れなかったのでは？